



民の毎朝、皆さんの注目の的となっています。
 脇に実ったみかん。通学路の朝、実習生の皆さんの注目の的となっています。

11月に入りました。お陰様で、当校での受け入れ実習生数は順調に伸びてきています。今月は、ベトナム・タイに続き、ミャンマー、カンボジア、中国からの実習生の来日も加わりました。実習生の皆さんの来日は、嬉しい限りなのですが、14日間の待機期間がまだ続いているので、入寮施設の準備や、リモート授業の実施、また実習生の皆さんへの感染防止対策など、新たな取り組みが多く、もう「師走」？と思うほどの慌ただしさです。そんな中、半年ぶりに戻ってきた実習生の皆さんの明るい笑顔が、心のビタミン剤、元気の源となっています。不慣れな業務も多いので、ご不便・ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、スタッフ一同、実習生とともに、この難局に全力投球で取り組んでまいりますので、今後とも当校教育活動へのご理解・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

あじけんスコープ Vol.91

～with corona での清掃活動～



教務室のドアノブを消毒する実習生

当校では、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、既にお伝えした「三密」の回避や、飛沫拡散防止に加え、共有物の除菌にも取り組んでいます。主に清掃の時間を利用して、教室の机やドアノブ、トイレのドア、階段の手摺など、不特定多数の人が触れる場所を中心に実習生自らが除菌作業を行っています。

この取り組みを通して、実習生の皆さんが、寮や実習現場の共有物に潜む感染のリスクや、除菌の大切さに気づき、ウイルスの感染から身を守ってくれることを願っています。

今月の実習生

今月は講習再開後、初となったベトナムからの介護実習生、向かって左から PHAN THI KHANH LINH (リン)さんと、PHAM THI LAN ANH (アイン) さんを紹介します。2人とも、日本語の基礎がしっかりと身に付いており、性格も素直なので、日本語力も順調に伸びてきています。



私はリンと申します。先月日本に来たばかりの実習生です。14日間の寮待機が無事終了してから、学校に通い始めました。ここでは日本語のみならず、日本のルルなどを教えていただきました。去る11月3日に専門学校へ介護実習を学ぶに行きました。同校は介護用品が整っています。先生方は私たちにとても優しくしてくれていて先生との距離もちかく感じています。将来、日本の優れた介護サービスを母国に広げるために、精一杯頑張りたいです。

私はベトナムから来た実習生です。アインと申します。来日してから、研修センターで講習を受けています。講習の内容は日本語と介護の知識・技術がありとても、介護の専門学校にも通っています。研修センターの先生や友達たちには私の夢の成真い学習と良い生活環境を作ってくれて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



介護実習に取り組むリンさんとアインさん

